

令和2年度第1回岩手県発達障がい者支援体制整備検討委員会・広域特別支援連携協議会

県教育委員会事務局学校教育課資料

## 「いわて特別支援教育推進プラン（2019～2023）」推進状況について

平成31年3月に策定した「いわて特別支援教育推進プラン」に基づき、「つなぐ」、「いかす」、「支える」の三つのキーワードごとの施策の方向性と具体的施策により「共に学び、共に育つ教育」の推進を図り、すべての人が互いを尊重し、心豊かに主体的に生活することのできる共生社会の実現を目指す。

令和2年度における推進状況 ★新規・重点施策 ○継続施策

### つなぐ ～就学から卒業までの一貫した支援の充実～

#### ★「教育支援のためのガイドライン」に基づく早期からの教育相談・支援

□「市町村教育支援担当者研修会」の実施【取組中】

令和2年5月15日（金）総合教育センターを会場に実施することとしていたが、今般の感染症拡大防止の観点から開催中止とした。代替措置として、県内各市町村教育委員会に教育支援の進め方に関する資料送付及び指導主事会議等での説明等を行っている。

□教育支援に係るリーフレット等の作成・活用による、就学や福祉に関する保護者への事前の情報提供・就学支援【取組中】

各市町村等において就学に関するリーフレット等を作成・活用が進められてきている。「家庭と教育と福祉の連携「トライアングル」プロジェクト」の報告の趣旨を踏まえた一層の連携等の推進について、令和2年2月6日に県教育委員会学校教育課総括課長・県保健福祉部障がい保健福祉課総括課長から各市町村へ再度通知した。今後は、市町村の推進状況を確認しながら、さらに充実した取組となるよう進めていく。

#### ★引継ぎシート等の活用による継続した支援

□引継ぎシートの取組周知・先行実施【取組中】

学校間や学校と医療機関をつなぐ「引継ぎシート」（令和2年度開発）及び「引継ぎシート作成・活用ガイドブック」について、令和2年4月6日に関係機関等に送付し、活用について周知を図った。また、指導主事会議等で繰り返し周知を図っている。「引継ぎシート」を活用した小学校から中学校への引継ぎ、中学校から高等学校への引継ぎは、令和3年度中学校・高等学校入学生から行うものとし、学校から医療・福祉機関等への引継ぎは、必要が生じた際に速やかに活用するものとしている。

#### ★特別支援学校等と地域企業等との連携

□企業との連携協議会の実施【取組中】

特別支援学校や障がいのある生徒への理解促進と実習・雇用機会の拡充を図るため、県内8地区で地域の特別支援学校と企業との連携協議会を設立し、年2回程度開催し、授業参観等や障がいのある方を雇用している企業からの事例報告、意見交換等を行っている。

令和3年度から二戸地区で開催することができるよう、関係機関との情報共有の基、今後の進め方について調整を図っている。

#### □サポーター企業の周知・表彰【取組中】

特別支援学校高等部に在籍する生徒の就業体験等の受入れ支援（2～3日間実施する就業体験、1週間から1か月間程度実施する産業現場等実習）を行っている企業（令和2年3月現在 110 企業等）を県民に広く周知するとともに、5年間継続して支援をいただいている企業に対して感謝状を贈呈した。

#### ○特別支援学校技能認定会を活用した教育活動

##### □特別支援学校技能認定会の実施【計画中】

特別支援学校高等部生徒の働くために必要な技能や態度、意欲などの向上を図るとともに、企業や関係機関の生徒理解や実習及び雇用機会の拡大を図ることを目的に、企業等の協力を得ながら、平成29年度から県立特別支援学校高等部生徒を対象として実施している。今年度から県内3会場で分散開催とし、より地域に根差した事業となるように進めている

〔内陸会場〕令和2年11月12日（木） 花巻市総合体育館

〔沿岸北部会場〕令和2年11月27日（金） 久慈拓陽支援学校

〔沿岸南部会場〕令和2年12月11日（金） 気仙光陵支援学校

### いかす ～各校種における指導・支援の充実～

#### ○継続型訪問支援・随時相談支援を活用した指導・支援

##### □継続型訪問支援・随時相談支援の実施【取組中】

特別支援学級、幼稚園（保育所、認定こども園含む）80校園を対象に、年間3回程度の継続型訪問支援を実施する。

そのほか、特別支援学校による地域支援の一環として、すべての校園を対象に随時相談支援を実施する。

#### ★地域における特別支援教育コーディネーター連絡会を活用した指導・支援

##### □特別支援教育コーディネーター連絡会による研修等の実施【取組中】

県内6地区において特別支援学校と小中学校等の特別支援教育コーディネーターを対象とした研修会を実施する。各地域のニーズに応じた研修内容に加え、昨年度岩手大学で取り組まれた「通常の学級における教科指導―“みんな”と“この子”の両方に配慮する授業づくり―」の成果普及を行い、いわての「授業ユニバーサルデザイン」の推進につなげる。

今年度においては、感染症拡大防止の観点から内容や会場の調整、参加対象の限定等運営面を可能な限り工夫しながら実施する。

〔盛岡北地区〕令和2年7月31日（金）盛岡青松支援学校

講義「特別支援教育コーディネーターの連携の実際～事例を通して～」

岩手大学教育学部特別支援教育科 教授 柴垣 登 氏

〔盛岡中央地区〕令和2年4月30日（木）【中止：資料送付等により補完】

〔盛岡南地区〕令和2年8月6日（木）盛岡峰南高等支援学校

講義「特別な支援を要する児童・生徒の家庭へのバックアップ～SSWとの連携～」

岩手県社会福祉士会 子ども家庭学校委員 高橋 岳 志 氏

〔中部・県南地区〕令和3年1月8日（金）前沢明峰支援学校

内容等調整中

〔沿岸3地区〕令和2年12月14日（月）大槌町文化交流センター（おしゃっち）  
内容等調整中

〔県北地区〕令和2年8月6日（木）久慈地区合同庁舎

講義「いわて特別支援教育推進プラン（2019～2023）の方向性  
～引継ぎシート・個別の教育支援計画等活用の考え方～」  
県教育委員会事務局学校教育課 主任指導主事 五安城 正 敏

□特別支援教育中核コーディネーターの養成・委嘱、活用【取組中】

地域における特別支援教育の推進的役割を担う小中学校等の教員が、各教育事務所長から特別支援教育中核コーディネーターの委嘱を受け、特別支援学校の特別支援教育コーディネーターと連携を図りながら各校の支援に携わる（令和2年8月1日現在24名）。

特別支援教育中核コーディネーターの専門性向上を図るため、本県との事業連携協定を締結している塩野義製薬株式会社との共催により研修会を開催する。なお、講師招聘に当たっては、岩手医科大学に調整いただいた。

〔特別支援教育中核コーディネーター研修会〕

令和2年11月24日（火）岩手県立生涯学習推進センター

講義「WISC-IV知能検査の実施と解釈」

NPO法人LD・Dyslexiaセンター顧問、放送大学客員教授

大 六 一 志 氏（WISC-IV知能検査日本版刊行委員）

○エリアコーディネーターの配置・運用

□エリアコーディネーターの配置・運用【取組中】

各教育事務所内の特別支援学校1校、合計6名を配置し、地域の特別支援教育の推進に向けて、教育事務所や市町村教育委員会業務への支援、関係機関等との連絡・調整に関する支援を行う。

○各校種や地域の実情・ニーズに応じた研修

☒幼児期における特別支援教育研修会【中止：他研修等において補完】

〔盛岡会場〕 令和2年6月13日（土） ふれあいランド岩手

〔釜石会場〕 令和2年6月20日（土） 釜石地区合同庁舎

☒特別支援教育支援員スキルアップ研修会【中止：学校訪問等において補完】

・期日及び会場 令和2年7月28日（火） ふれあいランド岩手

☒高等学校特別支援教育コーディネーター研修【中止：学校訪問等において補完】

・期日及び会場 令和2年6月22日（月） 総合教育センター

★特別支援学級・通級による指導担当教員を対象とした継続的な研修

□継続型ステップアップ研修の実施【取組中】

特別支援教育新任担当、2年目担当、3年目担当（令和2年度から）を対象とした継続型の研修を実施する。

【1年目】特別研修（新任研修）「担任・担当としての基礎力形成」

ア 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅰ（前期）・・・教育事務所実施

イ 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅰ（後期）・・・総合教育センター実施

ウ その他

希望研修として、特別支援教育新任担当教員研修講座（スタート研）を年度当初に実施

【2年目】特別研修（教職専門等研修）「担任・担当としての実践力向上」

ア 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅱ・・・総合教育センター、特別支援学校実施

【3年目】特別研修（教職専門等研修）「学校組織による特別支援教育の推進」

ア 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅲ・・・総合教育センター実施

★すべての校種における交流及び共同学習

□「交流籍」を活用した交流及び共同学習の円滑な実施【取組中】

特別支援学校の小・中学部に在籍する児童生徒が、居住する地域との関わりを充実させるために、居住する地域の小・中学校に副次的な籍である「交流籍」を位置付け、居住地校との交流及び共同学習を推進している。

小・中学部を設置しているすべての県立特別支援学校から、年度当初 344 名（前年比 11 名減）の申請があり、各校や児童生徒の実情に即した取組を進めている。

□各年齢段階での交流及び共同学習の実施【取組中】

幼稚園段階においては、特別支援学校に通学する幼児と近隣幼稚園等や居住地の幼稚園等との交流及び共同学習を実施している。高等学校段階においては、特別支援学校と近隣高等学校との交流及び共同学習を実施するとともに、スポーツ・文化芸術活動を通じた交流及び共同学習についても取組を広げていく。

支える ～教育環境の充実・県民理解の促進～

★特別支援学級・通級指導教室の総合的観点による整備

☑特別支援学級・通級指導教室の整備推進【済】

特別支援学級の状況（令和 2 年 5 月 1 日現在）

障がい種別	小学校・義務教育学校前期課程				中学校・義務教育学校後期課程				計			
	児童数	前年度比	学級数	前年度比	生徒数	前年度比	学級数	前年度比	児童生徒数	前年度比	学級数	前年度比
弱視	8	0	7	2	3	0	3	0	11	0	10	2
難聴	31	-4	20	-3	13	7	10	4	44	3	30	1
知的障がい	883	86	259	5	414	52	128	5	1,297	103	387	10
肢体不自由	36	-3	22	-4	14	4	12	4	50	1	34	0
病弱・身体虚弱	35	6	23	5	13	3	11	3	48	9	34	8
自閉症・情緒障がい	785	40	243	3	383	14	118	0	1,168	54	361	3
計	1,778	90	574	8	840	80	282	16	2,618	170	856	24

通級指導教室の状況（令和 2 年 5 月 1 日現在）

障がい種別	小学校・義務教育学校前期課程				中学校・義務教育学校後期課程				計			
	児童数	前年度比	教室数	前年度比	生徒数	前年度比	教室数	前年度比	児童生徒数	前年度比	教室数	前年度比
難聴・言語障がい	1,188	-3	87	1	4	1	1	0	1,192	-2	88	1
LD等	183	-27	16	0	75	5	12	1	258	-22	28	1
計	1,371	-30	103	1	79	6	13	1	1,450	-24	116	2

○特別支援教育支援員等の総合的観点による配置

☑特別支援教育支援員等の配置【済】

県立高等学校 31 校に 38 名の特別支援教育支援員を配置し、特別な支援を必要とする生徒への学習や生活上の支援にあたっている。

○外部専門家の活用

□スクールソーシャルワーカー等による福祉機関等とのネットワーク活用【取組中】

各教育事務所にスクールソーシャルワーカー18名を配置し、問題行動等の未然防止・早期発見及び関係機関等との連絡・調整等を行っている。

県立学校については、岩手県社会福祉士会に業務を委託し、各学校の依頼による出張相談・電話相談を行っている。

□スクールカウンセラーによる心のケア【取組中】

各学校にスクールカウンセラーを派遣し、心理的な不安等を抱える児童生徒及び教職員、保護者等への支援の充実を図っている。

□特別支援学校等における各種技能士等の活用【取組中】

各校の教育課程等を踏まえた要望により、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、視機能訓練士等を派遣し、教育活動の充実につなげている。

★特別支援学校の整備推進

□特別支援学校整備計画の策定と推進【取組中】

県全体及び各圏域の実情等を踏まえた整備計画の策定に取り組んでいる。令和2年秋頃にパブリック・コメント実施予定。

特別支援学校の状況（令和2年5月1日現在）

学校名		幼稚部		小学部		中学部		高等部		専攻科		合計	
		幼児	学級	児童	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級
県立	盛岡視覚支援			7	5	7	4	6	4	9	5	29	18
	盛岡聴覚支援	6	2	11	4	17	5	13	7			47	18
	盛岡となん支援			73	26	34	15	31	13			138	54
	盛岡青松支援			5	2	19	6	31	9			55	17
	盛岡峰南高等支援							102	12			102	12
	盛岡みたけ支援			89	23	51	14	74	15			214	52
	同奥中山校			14	6	7	4					21	10
	盛岡ひがし支援			46	11	16	5	30	5			92	21
	花巻清風支援			60	19	52	14	78	14			190	47
	前沢明峰支援			31	11	34	9	68	12			133	32
	一関清明支援	4	2	54	21	40	16	72	17			170	56
	気仙光陵支援			19	7	7	3	39	6			65	16
	釜石祥雲支援			21	8	13	5	35	8			69	21
	宮古恵風支援			15	6	22	6	36	8			73	20
久慈拓陽支援			29	8	12	4	35	7			76	19	
小計		10	4	474	157	331	110	650	137	9	5	1474	413
国立	岩大附属			16	3	16	3	23	3			55	9
私立	三愛学舎							29	3	26	2	55	5
小計				16	3	16	3	52	6	26	2	110	14
合計		10	4	490	160	347	113	702	143	35	7	1584	427
増減(前年度比較)		+3	+2	-9	+4	+16	+3	-91	-9	+6	-1	-35	-5

## ○医療的ケア児に係る看護師の配置

### ☑特別支援学校における看護師の配置【済】

9校42名の医療的ケアが必要な児童生徒を対象に、看護師40名を任用して対応している。

## ○県民向け公開講座

### □県民向け公開講座や広報活動の実施【計画中】

#### ・子ども未来支援セミナー

〔盛岡会場〕 令和2年9月27日（日） いわて県民情報交流センター「アイーナ」

講演「子どもも親も幸せになる 発達に課題がある子の育て方  
～全ての保護者に知って頂きたいこと～」

幼児教育専門家・作家 立石美津子氏

〔宮古会場〕 令和2年10月4日（日） 宮古地区合同庁舎

講演「見えない障害と生きる」

東海テレビ 記者・ディレクター 桑山知之氏

講義「読み・書き、行動の理解と支援のコツ」

岩手県立総合教育センター 主任研修指導主事等

〔北上会場〕 令和2年10月18日（日） 北上市生涯学習センター

講演「見えない障害と生きる」

東海テレビ 記者・ディレクター 桑山知之氏 ※VTR等による

講義「読み・書き、行動の理解と支援のコツ」

岩手県立総合教育センター 主任研修指導主事等

#### ・いわてこども発達支援サポートブック

各種研修会や会議等における紹介、ポスターの掲示等

## ○特別支援教育サポーター養成

### □特別支援教育サポーター養成講座の開催【取組中】

今年度は、盛岡聴覚支援学校、花巻清風支援学校、釜石祥雲支援学校の3校において、特別支援教育サポーター養成講座（全6～8回）を開催し、特別支援教育に関する県民の理解及び地域とともにある学校づくりにつなげている。

## ★スポーツ活動、文化芸術活動を通じた生きがいづくり、地域とのつながりづくり

### □各団体等と連携した事業の実施【取組中】

県文化スポーツ部、県教育委員会事務局保健体育課等において各種事業を実施し、幅広い分野のスポーツ活動、文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げている。

### □岩手県特別支援学校作品展等の周知【計画中】

関係機関への案内文書のほか、広報誌等を通じて広く周知する予定。

・期日及び会場 令和2年11月27日（金）～29日（日）

盛岡地域交流センター「マリオス」